

秋高連ハイキング

日光戦場ヶ原

平成21年6月29日～30日

宿泊：日光湯元おおるり山荘

No.	氏名	性別	団体名
1	友成 穂秀	男	能代西高校
2	鈴木 博之	男	能代工業高校
3	栗原 かほる	女	秋田南高校
4	榎 利美	男	秋田南高校
5	尾形 郁郎	男	秋田南高校
6	大山 寛康	男	秋田南高校
7	三平 俊悦	男	秋田工業高校
8	高橋 剛	男	秋田工業高校
9	大野 省治	男	秋田高校
10	佐藤久太郎	男	秋田中央高校
11	刈田 カイ	女	秋田北高校
12	山田 雅子	女	湯沢北高校



人生は人様との出逢いの旅です。今日のご縁を大事にしましょう。



湯の湖は北東にある三岳火山の噴火によって作られた堰止湖であり、その湖畔に日光湯元温泉があります。五色沢からの水と温泉からのお湯が混じっており、水面の標高 1478 メートル、水面面積 0.4 平方キロメートル、周囲 2.2 キロメートル、最大深度 12.5 メートル。1 時間で一周する事が出来ました。

湖盆が小さく、湖水は富栄養化して国立公園の環境としては好ましくないようだ。湖水は湯滝となって流下し、湯川を通して竜頭の滝を経て中禅寺湖に注ぐ。遂には華厳滝に至るのです。

△1944.8



↑ 湯の湖の対岸から眺めた湯元温泉

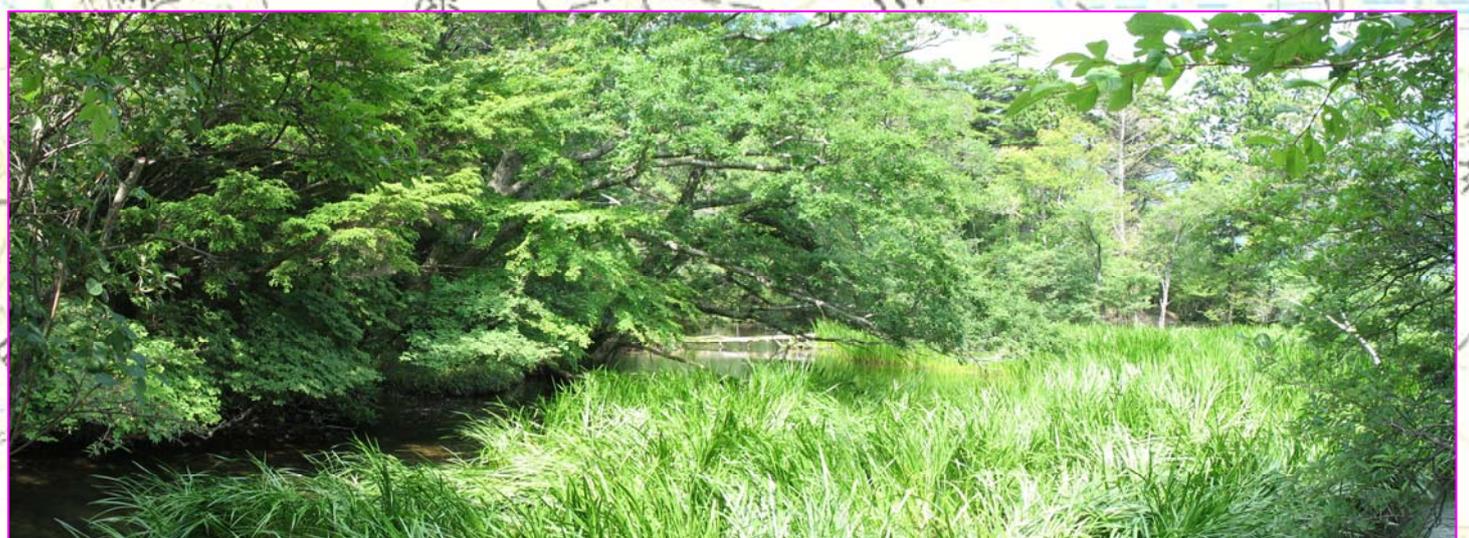


↑ 湯滝の滝口付近の流れ

蒼翠の山湖に泛ぶ夏ホテル 利美



↑ ^{いだ} ^{はしりね} ^{こしたやみ} 岩抱く大樹走根木下閣 利美

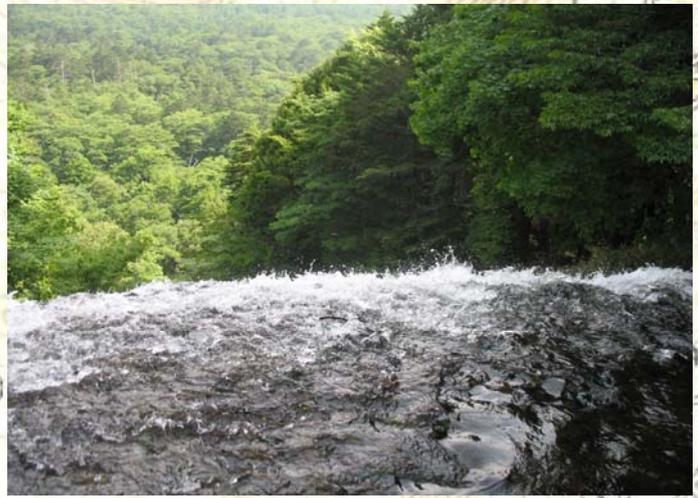


△1944.8



湯滝の滝口

-170



68



3.6

今日を懸命に生きるから、平穏な明日を迎えられるんです。



光



↑ 隠沼に釣綸垂らす朝曇



4-



茶屋

竜頭滝



笑顔は誰でも持っている大きな財産、無尽蔵ですからね。さあ、もっと微笑を



→ 見える階段が「温泉神社」佐藤さんと友成会長が感謝と好天なることを祈願。念ずれば通ずる・・・でした。



湯の平湿原・湯元温泉源泉

湯元温泉の歴史は古く、1200年前にさかのぼる。日光を開いた勝道上人が延暦7(788)年に温泉を発見し、薬師湯と名づけたのが湯元温泉の始まりと伝えられる。そのとき、背後の山を温泉ガ岳と命名し、頂上に薬師瑠璃光如来を祭ったと言われる。さらに、弘仁11(820)年には弘法大師がここを訪れ、観自在湯を見つけて観世音菩薩をまつたと伝えられている。

このように、湯元温泉には古くから薬師湯や観自在湯、川原湯など9つの湯があり、共同浴場として9人の湯守と呼ばれる人たちによって管理されてきた。残念ながら、現在これらの共同浴場はなくなったが、旅館やホテルが湯を引いて温泉客を迎えている。

湯元温泉の泉質は硫化水素泉。現在は湯ノ平湿原に源泉があり、温泉が湧き出る様子を見ることができる。効能としては、神経痛、筋肉痛、冷え症、糖尿病などに効くとされている。

湯元温泉は温泉のほかに、湯ノ湖周辺や切込湖・刈込湖へのハイキング、湯ノ湖や湯川での釣り、キャンプ、スキーなどの楽しみを求めてくる人も多い。昔からの温泉地が、だれもが自然と親しみながら楽しめる、新しいレジャー地へと変身している。

湯元温泉は、前白根山や群馬県境の五色山、金精山、温泉ガ岳の登山口にあたり、また戦場ガ原方面から続く国道120号は、ここから金精トンネルを越えると群馬県へ抜ける。



戦前の湯元温泉街の様子を伝える絵はがき



湯の原湿原の源泉、湧出量はそんなに多くは無い。木橋が縦横に渡されており直接お湯に手を浸せます。あちっ！



おおるり山荘

奥日光湯本温泉



今回は月曜日、火曜日でしたが満室の盛況ぶり、よく飲み、よくしゃべりましたね。酒豪は大野さんと三平さんですね。



↑ 佐藤さんの余興、お餅搗きと言う童謡に乗せ……説明しづらいが、後ろの栗原さんの苦笑、爆笑振りて想像してください。寝ているのは大山さん。
← 三平さん詩吟を朗々と……。
出郷作（きょうをいずるのさく）
（水戸藩士、同志と桜田門外に大老井伊直弼を刺す。自首して斬らるる22歳）



このハイキングの特徴は、水を持てば運動靴可の軽装でよい事である。足も軽やかに……。



年を重ねただけでは人は老いぬ。理想を失う時初めて老いが来るんです。何時までも夢を持つとよい。



← ウツギ
ミズバショウ
← マタタビ
→ ニッコウキスゲ



奥日光三名瀑の湯滝 落差約六〇mの湯滝。下の観瀑台からは大迫力の姿を見せてくれます。湯滝と言っても「お湯の滝」ではなく、湯ノ湖の水が流れ落ちているのでこの名前が付いています。

万籟を覆ひ尽くして滝落ちる 利美

光徳牧場



全員の写真を撮ったつもりでしたがなんと尾形さん、栗原さんそして自分自身が写っていませんでした。集合写真の満足げな皆さんの顔にほっとしますよ。



まだまだ全員余裕あり、しかし1国立からきた小学生達にどんどん抜かれてゆく。ゆうくりゆうくり
 それでいいじゃないですか。時間計画どおりに進んでいるのですからね。



沢跨ぐ朽木覆ひし苔の花
 利美



↓ 18.2.25 スノーハイク (かんじき) 時の同場所



△1944.8



← 写真を撮る為走り回る榎
すかさず撮り直す三平さん



たった一度の人生だから、引つ込み思案にならずにまずやってみようよ。そこに新しい発見と喜びがあるんだからね。



いのみやど
泉門池
戦





心身健やかにして、ハイキングに参加できる今のあなたは幸せなんです。



↑ 木道脇のバイケソウとイブキトラノオです。



←今日の穂咲きシモツケ草の群生地、↑と→は20.7.26の写真です。



今、ここに居る不思議、
全て、ご縁なんですネ。



→写真の奥に「湯の滝」が覗いている。
←高低差が無いので、とても楽でした。





あなたのその微笑が人様の微笑を呼び、生きる力になるんです。さあ、もっと笑顔を見せようよ。



→秋田南の参加者4名
←右から山田さん、栗原さん、刈田さん



湿原と田舎翠巒夏霞
朝涼の戦場ヶ原静もれり

利美



戦場ヶ原は男体山の西側、標高約 1400m に広がる総面積約 400ha の平坦地で、男体山の火山活動により誕生した湖沼群に土砂が流入して湿原化した地帯です。高山植物の一大群生地、アヤマやワタスゲ、レンゲツツジ、ズミ、ウマノアシガタ、ハクサンフウロなどの花々が季節を彩っている。



花が、綺麗、美しい
と心から思える時は、
あなたが幸せだからで
す。何時もそのように
ありたいものです。

第4コーナーの赤沼分岐を過ぎ、戦場ヶ原を流れる湯川の淵を竜頭の滝まで下る、概ね残り15分。全員元気、概ね計画どおりの進捗。緑陰を楽しみ、オゾン一杯吸い込んで適度な汗。心の底からハイキングの楽しさを満喫。





激しさを飛沫にかへて滝落らる
巖打つ滝の飛沫の絶えるなし
激しさは尋常ならぬ男滝かな
観瀑の茶屋名物の団子食ぶ
利美



明るく、楽しく、一生懸命に



天候にも恵まれ参加した全員、怪我無く目的地の竜頭の滝に予定時刻に計画どおり、秋高連ハイキングを終了できました。山菜そば、うどんと名物の団子を昼食とし、帰路に着きました。

目的とした「融和親睦」の実は十分に達成されたと思います。このイベントには参加されませんでした。参加者皆様のご尽力頂いた高橋副幹事長にお礼申し上げます。

企画担当:写真:アルバム 秋高連副会長 (秋田南 榎 利美)



ハマナス



ニッコウキスゲ



ウツギ



ルピナス



ハマナス



レンゲツツジ



花みずき



花みずき



ウツボグサ



ヤマアジサイ



ウマノアシガタ



ハクサンフウロ



イブキトラノオ



菖蒲



菖蒲

野に咲く花でも、誰かは見ているんです。自分ひとりと思わないでがんばろうよ。

花は時至れば、無心に咲く。その時が来るまでじっと待っているんです。だから愛でてあげようよ。

秋高連日光戦場ヶ原ハイキング参加者

平成21年6月29日、30日



友成 穂秀 能代西高



大野 省治 秋田高



佐藤 久太郎 秋田中央



川田 カイ 秋田北



山田 雅子 湯沢北



栗原 かほる 秋田南



三平 俊悦 秋田工



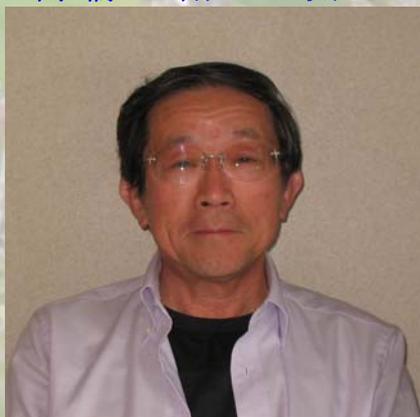
高橋 剛 秋田工



鈴木 博之 能代工



尾形 郁郎 秋田南



大山 寛康 秋田南



榎 利美 秋田南

一人じゃないよ。人様があなたを包み、あなたが人様を包んでいるんです。お互い様。

人それぞれが人生の達人なのです。人様から何かを学ぼうとする姿勢が大事ですね。

秋高連日光戦場ヶ原ハイキング実施計画

1 月日場所 21年6月29日(月)から30日(火) 日光戦場ヶ原

2 宿泊：おおり山荘 www.ohruri.com

〒321-1662 栃木県日光市湯元 2519 TEL.0288-62-2700 FAX.0288-62-2703

3 人数：12名 男性9名 女性3名

4 経費：11,000円

往路の無料送迎バス搭乗から29日昼食、夕食、30日朝食、昼食、宿泊代も含まれます。ただ、帰路日光駅からの電車賃は各自負担(帰路の方向が各自で異なる為、因みに日光駅から浅草駅までは1320円 特急指定席1300円です。)

5 行動概要

- (1) 29日参加者は最寄駅からの迎えバスに乘車、13時頃にホテルにチェックイン。乗車場所時間は www.ohruri.com で「湯けむり号」をクリック。
- (2) チェックイン後、湯の湖一周、及び源泉湧出場所散策、その後入浴
- (3) 17時30分もしくは18時半からのバイキング形式夕食会、終了後、部屋で懇親会
- (4) 30日 朝食は8時から8時30分(バイキング形式)
- (5) 30日 8時40分頃から戦場ヶ原散策、竜頭の滝まで約8キロハイキング
- (6) 「竜頭の茶屋」で喫食、その後バスで日光駅へ

6 服装及び装備

- (1) ハイキングに適した服装・装具。雨対策は忘れずに。手袋・傘
- (2) 登山靴、ハイキングシューズが望ましいが運動靴でも大丈夫
- (3) 食料等；補助食料(パン、アメ等適宜な物)、
- (4) 水(ホテルの水が美味、空きボトルを最低500CC×2本準備すること)
- (5) 緊急用予備衣類；替え肌着、靴下、タオル(防水に心掛けて下さい。)
- (6) その他；保険証、ティッシュ等(足爪は3日前位に切っておく事)

7 役割

全般計画：榎 利美副会長(秋田南)

会 計：栗原かほる(秋田南)

懇親会：大野 幹事長(秋田高)

(浅草)

全員「秋高連様」として座席指定されています。

NO	氏名	出身校	乗車駅・時刻	自宅電話	携帯電話
1	鈴木博之	能代工高	池袋駅西口・9時00分	03-3643-6051	090-4017-4891
2	友成穂秀	能代西高	新宿駅西口・8時00分	0422-22-2229	
3	大野省治	秋田高	池袋駅西口・9時00分	03-5802-6818	090-5771-5331
4	刈田力イ	秋田北高	松戸駅西口・9時00分	0297-65-3912	090-2206-6835
5	三平俊悦	秋田工高	新宿駅西口・8時00分	044-852-0891	090-6930-1389
6	高橋剛	〃	新宿駅西口・8時00分		080-2091-7615
7	榎利美	秋田南高	西船橋駅・8時00分	043-496-1796	080-1019-7653
8	大山寛康	〃	町田駅北口・7時00分	043-496-1796	090-6123-7388
9	尾形郁郎	〃	新宿駅西口・8時00分	03-3306-3801	090-6921-0030
10	栗原かほる	〃	池袋駅西口・9時00分	03-3946-6343	080-3701-0908
11	佐藤久太郎	秋田中央高	池袋駅西口・9時00分	03-3953-1174	
12	山田雅子	湯沢北高	千葉駅東口・8時00分	043-251-2704	090-8461-0309

男性9名、女性3名

池袋駅西口 4名
松戸駅西口 1名
新宿駅西口 4名
西船橋駅 1名
町田駅北口 1名
千葉駅東口 1名